

報道関係者各位
 加古川市政記者クラブ 御中
 姫路市政記者クラブ 御中
 兵庫県政記者クラブ 御中

2019年1月9日

テレビや新聞で話題の「VR認知症体験会」を加東市で開催！1月15日申込締切！
 ～2019年2月、日の出医療福祉グループ「伽の里」「ふたばの里」主催の「北はりま日の出塾」で～

日の出医療福祉グループは、「認知症」への理解を深めていただくため、マスコミで話題となり、介護・医療事業者や行政機関、大学などで、30,000人以上が体験した「VR認知症体験会」を、2019年2月15日、加東市「ミナクル」で、開催します。



【実施概要】

名称：北はりま日の出塾「VR認知症体験会」

日時：2019年2月15日（金）

①13:00～14:30、②15:30～17:00 の

2回実施（申込は1月15日まで）

場所：ミナクル（南山活性化支援施設）
加東市南山1丁目4-2

内容：認知症ではない人が、バーチャルリアリティ（VR）の技術を活用し、「認知症を学ぶ」のではなく「認知症の中核症状を体験する」ことで、認知症のある方への理解を深めます。

講師：「VR認知症体験会」の第一人者
「株式会社シルバーウッド」様https://peraichi.com/landing_pages/view/vrninchisho

申込：伽の里デイサービスセンター（鹿島） ふたばの里介護相談センター（戸田・神山）
 TEL 0795-47-5511、FAX 0795-47-5501 TEL 0794-70-0203、FAX 0794-70-0220

※先着順で定員の50名様に達し次第、締め切らせていただきます。悪しからずご了承ください。

【背景・経緯】

わが国の認知症高齢者の数は、2012年で462万人と推計されており、2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれています。厚生労働省では、2017年、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、新たに「認知症施策推進総合戦略」（新オレンジプラン）を策定しました。その具体的な施策のひとつとして、「認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進」が掲げられています。

【今後の方針】

当グループは、今後も、介護や福祉をはじめ地域の皆様のお役に立てるテーマで、定期的に「北はりま日の出塾」「日の出塾」を開催する予定です。ご参加希望の方は、詳細下記までお問い合わせください。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

Tel：079-441-8423 Fax：079-441-8523

広報担当：中島 史朗（なかしましろう）

Mobile phone：090-7552-1599

Mail：nakashima.sr@hinode.or.jp

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者：代表理事 大西 社司

設立：2016年7月

会員法人：社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団 奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス：介護、保育、医療

事業所数：130カ所 職員数：2500人（2018年度）

私たちは三方良しの考え「お客様のよろこび 社員のよろこび 地域のよろこび」の精神のもと「よろこびに繋がることはどんどんやっていく」という姿勢で日々仕事をしています。特に今は「働き方改革」に力を入れており、AI面接の導入を進めているほか、週休3日制を検討する等これからも様々な働き方スタイルも提案していきたいと考えています。



※(株)シルバーウッド様ホームページより https://peraichi.com/landing_pages/view/vrninchisho

<VR認知症とは>

認知症ではない人が、バーチャルリアリティ(VR)の技術を活用し、認知症の中核症状を体験するものです。認知症の症状は「単なる物忘れ」だけでは無いのです。このプログラムでは「認知症を学ぶ」のではなく「認知症を体験する」ことで認知症のある方への理解を深めることを目指しています。

<VR認知症コンテンツ>



①私をどうするのですか？

認知症の中核症状の1つを体験。いままで接する時に「どうしてそんな事に？」と腑に落ちなかった認知症のある方への想像力を養います。また認知症は単なる記憶障害だけでは無いことを体験することができます。



②ここはどこですか？

認知症があっても無くても誰もが一度は経験がありそうな「困った体験」から認知症への偏見や差別を無くしそこから見える「認知症」の本当の問題とは何か？を体験するコンテンツです。



③レビー小体病 幻視編

レビー小体病当事者の樋口直美さん原作・監修。レビー小体型認知症の特徴である「幻視」の世界をありのままに伝えます。認知症の概念が変わります。

<体験者の声>

- ・認知症については、全て理解しているつもりでいたが、上から目線だったのかもしれない。“症状”を見て“ご本人”を見ていなかったのかもしれない。(認知症専門医)
- ・認知症の方の気持ちを理解し寄り添いたいとずっと思って来たがなかなかできなくて苦しんでいた。体験を通じてこれから自分がどうしていけばいいのかやっとわかった気がして涙が出た。(介護職)
- ・10年前にこの体験ができていたら自分の母親に対する介護が変わっていたかもしれない。今介護をしている家族に見てほしい。(介護家族)
- ・現在レビー小体型認知症の父親の介護中だが、今日から少し優しく接することができるのではないかと思った。(介護家族)

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

Tel : 079-441-8423 Fax : 079-441-8523

広報担当：中島 史朗 (なかしましろう)

Mobile phone : 090-7552-1599

Mail : nakashima.sr@hinode.or.jp

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者： 代表理事 大西 壮司

設立： 2016年7月

会員法人： 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス： 介護、保育、医療

事業所数： 130カ所 職員数： 2500人 (2018年度)

私たちは三方良しの考え「お客様のよろこび 社員のよろこび 地域のよろこび」の精神のもと「よろこびに繋がることはどんどんやっていく」という姿勢で日々仕事をしています。特に今は「働き方改革」に力を入れており、AI面接の導入を進めているほか、週休3日制を検討する等これからも様々な働き方スタイルも提案していきたいと考えています。



北はりま日の出塾

医療介護業界の専門家や著名な講師をお招きした「日の出塾」(下記)の北播磨版として、ふたばの里介護相談センターと伽の里デイサービスセンターが共同で開催。
北播磨圏域の介護サービス事業者、医療機関従事者、その他興味のある方どなたでも参加していただけます。(参加費無料)



【開催実績】

- 2018.11.13 視覚障害者に関する基礎知識及び接遇に関する実習
- 2018. 8.23 アンガーマネジメントを活用したクレーム対応
- 2018. 5.23 クロスロード(災害対応シミュレーションゲーム)
- 2017.12.11 在宅介護に役立つ介護技術
- 2017.11.15 ケース対応ですぐに使えるアンガーマネジメントテクニック

日の出塾

医療介護業界のトップランナーや著名な専門家を講師にお招きした講演会「日の出塾」を主催。当法人メンバー、近隣の法人、関係会社などをお招きし、定期的に開催しております。(参加費無料)今年2月に兵庫大学と連携協定締結により、今後兵庫大学学内ホールも開催会場となります。

【最近の開催実績】

- 2018.12.13 神まつりに学ぶ経営理念
- 2018.11.22 介護保険制度勉強会
- 2018.10.18 食生活のリスク管理 裕福な日本と最貧国バングラデシュから見える食生活の危うさ
- 2018. 9.27 赤ちゃんの脳を知り、あたたかい心を育む
- 2018. 8.23 兵庫の未来と福祉行政課題
- 2018. 7.26 年金セミナー・鍼灸治療を通しての高齢者ケア

※「日の出塾」の詳細は、<https://hinode.or.jp/column/> をご覧ください。
(なお、「北はりま日の出塾」の詳細は、別途、下記へお問い合わせください)

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

Tel : 079-441-8423 Fax : 079-441-8523

広報担当：中島 史朗 (なかしましろう)

Mobile phone : 090-7552-1599

Mail : nakashima.sr@hinode.or.jp

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者： 代表理事 大西 壮司

設立： 2016年7月

会員法人： 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス： 介護、保育、医療

事業所数： 130カ所 職員数：2500人 (2018年度)

私たちは三方良しの考え「お客様のよろこび 社員のよろこび 地域のよろこび」の精神のもと「よろこびに繋がることはどんどんやっていく」という姿勢で日々仕事をしています。特に今は「働き方改革」に力を入れており、AI面接の導入を進めているほか、週休3日制を検討する等これからも様々な働き方スタイルも提案していきたいと考えています。

